

アカイカ漁場予測モデルの開発

海洋生産に関する多種多様なデータを統合して、アカイカの効率的な操業を実現するためのピンポイント漁場探索技術の開発を行っています。

要約

研究成果の概要

1. 背景・目的

アカイカは、漁獲のほぼすべてが八戸漁港に水揚げされ、八戸地域の多方面の産業に極めて重要な原料ですが、海洋環境の変化等により、近年の水揚げ量は不安定になっています。このため、漁船の燃油節減とともに、効率的な漁場探索技術の開発が求められています。

2. 内容

- ・(独)海洋研究開発機構、北大、京大、水研センター、気象庁等と共同で、気象、海象、操業データ等の様々なデータを統合して、アカイカにとって好適な漁場環境を解析・予測し、衛星回線を通じて配信しています。
- ・操業情報をリアルタイムでフィードバックすることにより、更に現状に則した精度の高い予測が可能となりました。

3. 活用等

効率的な漁場探索が実施できるようになり、使用燃油と経費の削減につながるとともに、漁獲の安定が図られます。

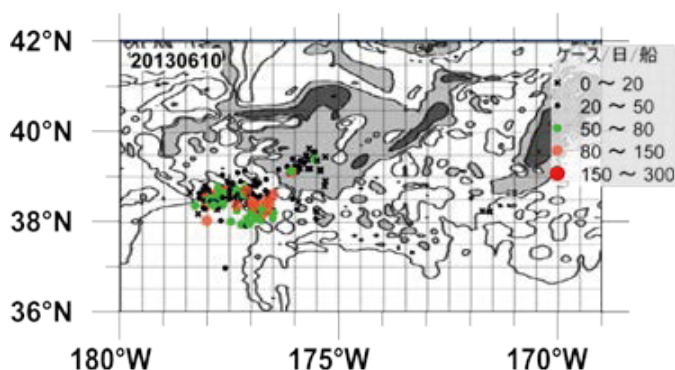


図1 漁場予測図

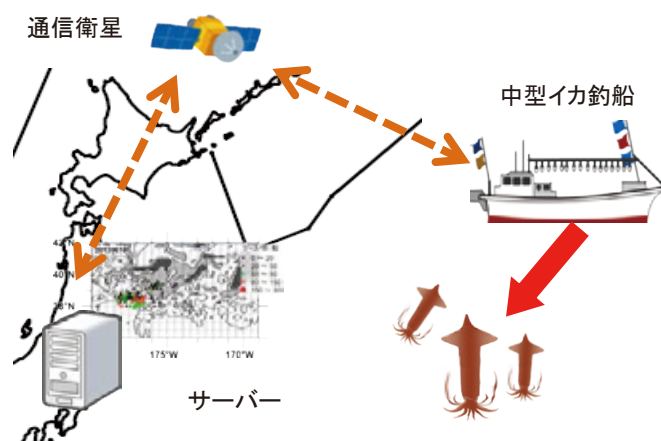


図2 衛星によるリアルタイム相互通信

関連情報

これらの調査結果は「気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実用化(独・海洋研究開発機構)」に掲載されています。

水温などのリアルタイム配信のほか、各地の関連トピックなど、青森県の海に関する総合的な情報を提供している「海の総合サイト海ナビ@あおもり」も参考にしてください。

水産総合研究所 漁場環境部

Tel. 017-755-2155

E-mail sui_souken@aomori-itc.or.jp

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

